

年頭のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年からのコロナ感染は、一旦収まったかのような様子を見せましたが、昨年11月ころ南アフリカで検出された新型コロナウイルス変異型（オミクロン型）はまたたく間に世界に拡散し、日本国内でも11月末から水際対策が強化せれるなど、再び感染拡散が懸念されております。昨年、ふるさと会でも初期の感染で死亡された方がおり、「決して他人事ではない」ことを各自が意識していただき、基本的な対策をこまめに実行していただきたいと思います。

昨年は1昨年に続き、年初からコロナ感染が非常に厳しい状況にあり、計画していた行事は殆どが中止の止むなきに至りました。間もなく3回目ワクチン接種が全般的に始まりますが、油断は禁物です。お互いに気をつけましょう。

そんな中でも、10月に広報部会がコロナの間隙について「会報39号」を発行し皆様のお手元にお届けいたしました。内容云々については皆様ご覧になって感じた通りでございます（素晴らしい!）。

また、連合会理事会も昨年、感染の減少した時期に開催して本年の行事等の調整を行いました。そして例年1月に開催していた「新年交礼会」（アルカディア市ヶ谷・200名規模）は中止としましたが、4月に開催していた「総会・懇親会」を「総会・交礼会」として4月16（土曜日）、場所を「アルカディア市ヶ谷（例年は九段・教育会館）」に移し、人員を200名規模（例年は100名程度）に拡大して実施することを検討します。

さらに他行事も、「コロナ感染の状況を踏まえながら積極的に実施する」方向で決議しております。役員各位もご多分に漏れず、皆様方と会って杯を傾けながら懇談したという気持ちでいっぱいです。どうか楽しみにしていただきたいと思います。

結びになりますが、コロナ感染には十二分にお気を付けいただき、元気で再会できることを心待ちにしています。

皆様のご健康ご多幸をご祈念申し上げご挨拶といたします。

令和4年 1月 吉日

北海道ふるさと会連合会 会長 新家鶴男